



今年は5月に雨がたくさん降りました。梅雨が早くに訪れるのでしょうか？この5月から、NPO法人 ままのりあ、事業所共に創立8年目を迎えました。あっという間の7年間でした。4月には理事会、5月には総会を3年ぶりに開くことができました。たくさんの方々に支えられ、応援していただき、今のままのりあがあります。電話で受け答えする際、「ありのままの逆です！」と必ず言っていたことが昨日のこのように思い出されます。

この7年の間にたくさんのお子さん、ママたちと出会ってきました。一人ひとり、身体も心も頼もしく成長されました。もちろん、まだまだ、いえ！これから大変な時期を迎えようとしているお子さんもいらっしゃいます。

わたし自身はどうかな？どう変わったかな？と振り返ってみました。見た目は…見知らぬ子から「おばちゃん！」と言われ、ぽつと胸をなでおろしている自分がいます。「良かったあ〜おばあちゃんじゃなかった。」な〜んて（泣）もしかしたら、わたしの〇〇年の人生の中で一番変わっていない7年だったような気がします。「気持ち」が…です（泣）

5月には「学校に行きたくない！」とお子さんが言っている、もしくは学校の先生に対して不信感を感じているママからの相談がたくさんありました。

学校という思い出すことがあります。息子が小学3年生の時、学級崩壊になりました。毎日傷を作って帰ってくる。何かあったんだろう？息子に尋ねると、クラスで暴れている子がいるとのこ

と。机に登ってイスを振り上げる、壁を蹴る、棚の上の物をまき散らして落とす等々。息子はその押さえ役を先生から命じられたようで、押さえられている際に傷をつくっていたらしいのです。これはもしや…？その暴れている子は発達の問題を抱えているのでは？と思い、先生に面談を申し込みました。先生は精根尽き果てた状態でいち保護者であるわたしに「もう、どうして良いのか分かりません」と涙ながらに訴えたのです。先生のその子に対する関わり方は、「注意する、怒る」のみで、逆効果この上ない状態でした。クラスが荒れているので心身症を患い学校に来られなくなった女子も数人でした。

長くなるので結果のみお伝えします。年度の途中でクラス再編成があり（転校生が一人現れたこともあり）その子の担任が変わり、子どもたち・保護者から一番信頼のあつた先生が、その子の担任になりました。保護者であるわたしは、ぜひぜひその子の担任になって欲しいと直談判しました。

結果、「〇〇くん新聞」なるものが発行され、毎月、クラスの掲示板に貼られ、休憩時間のほとんどをその子は新聞作りに費やしました。それと共に病院を受診、薬の服用も始まり、その子はとても落ち着きました。元の担任だった先生はいしばらく休職し、数ヶ月経ち、復職しました。

その子が荒れたのは、まさしく3年生！必要なケアがされないまま、いわば1人ぽつたらかされて、苦しくて苦しくて苦しくて、心の叫びが暴れるという形になったのだと思います。

学校、ていったい何なのでしょう？その子が楽しく通えないと意味がないとわたしは思っています。苦しくても辛くても頑張っていくところでしょうか？その子の苦しい原因をとりのぞきたい、原因が何なのか探りたい、それが分かるまでは「休む」という選択も大いにあります。

☆ 裏へ続く…

療育の現場に立つ者としてはっきり申し上げたい。

「子どもたちにとって学校は、楽しむために行く場所です」。

いっしょに考えましょう。いつでも気軽に連絡してね(๑ˊˋˊ)

お知らせ

- ・ ムーブメント 6月20日(月) ① 11:00～12:00
② 13:00～14:00

ひでみ先生によるムーブメントグループです♡
バルーンや風船、フープ、スカーフなどなど、自由楽しく
身体を動かしましょう♡参加お待ちしております♡

- ・ 児童発達支援保護者会

6月23日(木) 10:00～

- ・ 放果後等デイサービス保護者会

6月25日(土) 10:00～

参加を希望される方はお知らせください♡



暑い日が
多くなって
きました。
改めて水筒の
持参、ご協力
よろしく
お願いします。

ままのりあ

〒252-0324
相模原市南区相武台7-21-5
電話 046-244-4537
FAX 046-244-4538